

| | | | |
|---------|-----|----------------|----------|
| 教材名 | | 『ふるさと山梨』の章・ページ | |
| 山梨県の人口 | | 第5章① P. 136 | |
| 教科(領域)等 | 社会科 | 学年(分野) | 3学年公民的分野 |

1. 教材のねらいと概要

人口を主題に山梨県の未来について関心を持ち、より良い地域づくりに参画しようとする態度を育む。
山梨県の過去から未来の総人口の推移とその時々¹の社会的事象を掲載したのグラフから、人口について関心を持たせ、人口増減の理由を考えさせたい。
人口ピラミッドのグラフから、少子高齢化と、若者が山梨県から流出している現状を理解させ、その原因を考えさせたい。

2. 活用例




①

| | | | |
|----------------------------|----------|---|-------------|
| 教科名等 | 社会科地理的分野 | 単元(題材)名等 | 世界から見た日本の人口 |
| 活用場面 | | 活用のポイント | |
| 山梨県を例に少子高齢化や人口分布の変化を理解させる。 | | 少子高齢化や、過密・過疎の現状をより実感させるために、山梨県の状況を例にすることで、生徒の関心・意欲を高める。グラフの出典や読み取り方に留意して指導する。増減の原因を推測させる。 | |
| | | | 時間 40分 |

②

| | | | |
|--------------------------------------|----------|--|-------------|
| 教科名等 | 社会科公民的分野 | 単元(題材)名等 | より良い社会を目指して |
| 活用場面 | | 活用のポイント | |
| 公民の最終章の探究的な学習のテーマとして、山梨県の人口問題をとり上げる。 | | 本単元は、生徒が自ら課題を設定し予想を立て検証していくことが求められる。そして持続可能な社会をどのようにつくっていくのかを自分の言葉で表現させることが大切である。本資料を導入として使用し、学習課題を設定させたい。 | |
| | | | 時間 40分 |

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

| ページ | 投げかけの言葉 | 意図 | 解答例 |
|---|---|---|--|
| P. 136  | 人口が減ると、私たちの生活にどのような悪影響が出てくるのかな。 | 山梨県や各市町村にとって人口減少は今後の大きな課題であることを、実感させたい。 | 病院や学校、お店や公共交通機関がなくなり、生活が不便になる。税収の減少からもさまざまな影響が考えられる。 |
| P. 136  | 人口ピラミッドを見ると0～4歳の人口が少なく、少子化が気になるな。20～29歳の人口が減ると、私たちの生活にどのような悪影響が出てくるのかな。 | 少子高齢化に気付かせるとともに、若い世代が山梨から転出していることに気付かせ、その理由を考察させたい。 | 県外の大学へ進学し、東京都市圏に就職する若者が多いことが考えられる。働く場の確保が必要である。 |
| P. 136  | 平均寿命が延びているのに、なぜ人口が減っているのかな。 | 高齢化よりも少子化と県外への人口流出に目を向けさせたい。安心して子育てができる環境づくりについて考えさせたい。 | 亡くなる人の数より生まれる人の数が少ない。転入者より転出者の割合が多い。 |

4. 参考文献・関連施設等

| | | |
|--|-----------------------|------|
| 参考文献名 | 著者・編者 | 発行年 |
| 「ダイナミック山梨総合計画全体版」 | 山梨県総合政策部政策企画課山梨県広聴広報課 | 2016 |
| 参考ホームページ | | |
| 山梨県公式ホームページ → ダイナミック山梨総合計画 → 第2章(1)本県の「いま」 | | |